

2025 学修の手引き（学士課程）

- 01_教育目標/ディプロマポリシー/カリキュラムポリシー
- 02_カリキュラムマップ
- 03_神学部教育課程(カリキュラム)の特徴
- 04_教育課程表
- 05_科目コード
- 06_単位/履修単位数
- 07_主専攻と副専攻
 - 07-1_教会教職（主）
 - 07-2_グローバル・スタディーズ（主・副）
 - 07-3_ユース・スタディーズ（主・副）
 - 07-4_キリスト教福祉（主・副）
 - 07-5_神学教養（主）
 - 07-6_Japanese Studies（副）
 - 07-7_教会音楽（副）
- 08_ユースプログラム主事認証
- 09_社会福祉主事任用資格
- 10_履修登録/履修制限
- 11_授業
- 12_試験/成績
- 13_卒業要件/学位
- 14_学籍
- 15_クリスチャンライフ・フォーメーション
- 16_器楽等レッスンの履修
- 17_単位認定(入学前修得・英語科目)
- 18_留学制度
- 19_教務部案内・証明書
- 20_TCU 学習における生成 AI 利用ガイドライン

東京基督教大学 神学部

教育目標・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー

I. 教育目標

神学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

II. ディプロマポリシー

神学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。

以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。

- 1 プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。
- 2 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。
- 3 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。
- 4 クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。
- 5 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

III. カリキュラムポリシー

神学部では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成し、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指して、「TCU コア科目」、「キリスト教リベラルアーツ科目」、「言語科目」、「専門科目」、「統合科目」の科目群により教育課程を体系的に編成します。

また、学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供します。提供される専攻は以下のとおりです。

教会教職専攻

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

以上のようなカリキュラムの構造を体系的に理解できるように教育課程表を提供し、さらに各科目、科目群で修得することが求められるディプロマポリシーを明示したカリキュラムマップを提供します。また、科目コードを用いることで科目の区分（科目群）と履修目安年次を明示します。

「教育内容」、「学修方法」、「評価」について以下のように定めます。

[1]教育内容

- a. クリスマンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。
- b. 新入生には、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会としてTCU コア科目を提供します。TCU コア科目の一つである「クリスマンライフ・フォーメーション」では、社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスマンを育成するため、チャペル礼拝出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。
- c. 人間と社会を理解するために必要なキリスト教リベラルアーツ科目として人文学、社会科学、Great Books、教会音楽の科目を提供します。
- d. 初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする初年次教育科目を提供します。
- e. 言語科目では、日本語トラックの学生は英語を中心に、英語トラックの学生は日本語を中心に学びます。またグローバルな視点を養う諸言語を提供します。
- f. 神学の知識とその応用力を身につけるため、聖書学、組織神学・歴史神学、実践神学の科目、さらに聖書学を専門的に学ぶための言語科目として聖書原語科目を提供します。
- g. 異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスマンを育成するため、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の専門科目を提供します。
- h. 3、4年生を対象に学びの実践と統合を目的とした演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、卒業研究等の統合科目を提供します。これらの統合科目を通してキャリア形成を行い、より明確な将来像と結びついた具体的な進路選択を促します。

[2]学修方法

- a. 学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とします。
- b. 学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。
- c. すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- d. 授業内容の改善に活かすために、学生による授業評価を実施します。

[3]評価

- a. シラバスに記載された到達目標に従って各科目の成績評価を行います。
- b. 卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、DP ルーブリックに基づく学生の自己評価、教員との面談を含む他者評価、外部評価が総合的に用いられます。

東京基督教大学 神学部

カリキュラムマップ（ディプロマポリシーと科目の関係）

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	神学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	神学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。
	DP1：プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2：東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3：修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4：クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5：神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

科目区分		科目コード	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
TCU Core	TCU Core	CTS110-130J	TCUスタンダード I 2 3	◎	◎		◎	◎
		CCW110J	キリストと世界 I（神学）	◎	○	○		
		CCW120J	キリストと世界 II（旧約）	○	○	○		
		CCW130J	キリストと世界 III（新約）	○	○	○		
		CSD100J	霊的形成	○	○		○	○
		CCF001J	クリスチャンライフ・フォーメーション 1	○	○		○	○
		CCF002J	クリスチャンライフ・フォーメーション 2	○	○		○	○
		CCF003J	クリスチャンライフ・フォーメーション 3	○	○		○	○
		CCF004J	クリスチャンライフ・フォーメーション 4	○	○		○	○
		CTS110-130E	TCU Standard I 2 3	◎	◎		◎	◎
		CCW110E	Christ and the World I: Issues Facing the Church Today	◎	○	○		
		CCW120E	Christ and the World II: Issues Facing the Church through Time	○	○	○		
		CCW130E	Christ and the World III: Issues Facing Ancient Israel and the Early Church	○	○	○		
		CSD100E	Spiritual Development	○	○		○	○
		CCF001E	Christian Life Formation 1	○	○		○	○
		CCF002E	Christian Life Formation 2	○	○		○	○
		CCF003E	Christian Life Formation 3	○	○		○	○
		CCF004E	Christian Life Formation 4	○	○		○	○
Christian Liberal Arts	First Year Education	RFY111-113J	基礎演習 A B C				○	
		RFY120J	情報リテラシー				○	
		RFY130J	キャリア教育				○	
		RFY110E	Academic Research and Writing				○	
	Humanities	RHU110J	人文学 I（文学）				○	
		RHU120J	人文学 II（西洋思想）				○	
		RHU230J	人文学 III（東洋思想）				○	
		RHU240J	人文学 IV（キリスト教倫理）				○	
		RHU350J	人文学 V（キリスト教哲学）				○	
		RHU210E	Humanities I: Survey of Western Philosophy				○	
		RHU220E	Humanities II: Christian Ethics				○	
	Social Sciences	RSS110J	社会科学 I（保育学）				○	
		RSS120J	社会科学 II（女性と社会）				○	
		RSS230J	社会科学 III（心理学 I）				○	
		RSS240J	社会科学 IV（心理学 II）				○	
		RSS350J	社会科学 V（言語学）				○	
		RSS210E	Social Sciences I: General Psychology				○	
		RSS220E	Social Sciences II: Christian Education				○	
	Great Books	RGB110E	Great Books I: Western Philosophy				○	
		RGB120E	Great Books II: Japanese Literature				○	
		RGB230E	Great Books III: World Literature				○	
		RGB240E	Great Books IV: Social Sciences				○	
		RGB250E	Great Books V: Natural Sciences				○	
		RGB360E	Great Books VI: Sacred Books of the East				○	
		RGB370E	Great Books VII: Christian Classics				○	
	Church Music	RCM110J	教会音楽 I（ミュージックミニストリー）				○	○
		RCM220J	教会音楽 II（教会音楽の歴史）				○	○
		RCM330J	教会音楽 III（教会音楽の実際）				○	○
		RCM140J-	教会音楽 IV（クワイア1〜4）				○	○
		RCM150J-	教会音楽 V（オルガンレッスン1〜4）				○	○
		RCM160J-	教会音楽 VI（ピアノレッスン1〜4）				○	○
		RCM170J-	教会音楽 VII（声楽レッスン1〜4）				○	○
		RCM180J-	教会音楽 VIII（ギターレッスン1〜4）				○	○
	Sports Education	RSL110J	スポーツ・リベラルアーツ I				○	
		RSL120J	スポーツ・リベラルアーツ II				○	

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	神学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	神学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。
	DP1：プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2：東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3：修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4：クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5：神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

科目区分		科目コード	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
Languages	English 英語	LEN111-113J	Total English 1 A-C				○	
		LEN121-123J	Total English 2 A-C				○	
		LEN131-133J	Total English 3 A-C				○	
		LEN211-212J	Total English 4 A-B				○	
		LEN221-222J	Total English 5 A-B				○	
		LEN231-232J	Total English 6 A-B				○	
		LEN250J	Pre-English Intensive Study Abroad				○	
		LEN260J	English Intensive Study Abroad				○	
	Korean 韓国語	LK0210J	韓国語 1（基礎）				○	
		LK0220J	韓国語 2（初級）				○	
		LK0330J	韓国語 3（中級）				○	
	Chinese 中国語	LZH210J	中国語 1（基礎と台湾文化入門）				○	
		LZH220J	中国語 2（初級）				○	
	Japanese 日本語	LJA110-130E	Elementary Japanese Language and Culture 1-3				○	
		LJA210-230E	Intermediate Japanese Language and Culture 1-3				○	
		LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture (Fall)				○	
		LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture (Winter)				○	
		LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture (Spring)				○	
		LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening (Fall)				○	
		LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening (Winter)				○	
		LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening (Spring)				○	
		LJA281-283E	Mastering Kanji 1-3				○	
	Biblical Hebrew ヘブライ語	LBH310J	ヘブライ語 1（文法1）	○		○		○
		LBH320J	ヘブライ語 2（文法2）	○		○		○
		LBH330J	ヘブライ語 3（文法3）	○		○		○
		LBH440J	ヘブライ語 4（講読1）	○		○		○
		LBH450J	ヘブライ語 5（講読2）	○		○		○
	Biblical Greek ギリシア語	LBG310J	ギリシア語 1（文法1）	○		○		○
		LBG320J	ギリシア語 2（文法2）	○		○		○
		LBG330J	ギリシア語 3（文法3）	○		○		○
		LBG440J	ギリシア語 4（講読1）	○		○		○
		LBG450J	ギリシア語 5（講読2）	○		○		○
Specializations	Biblical Studies 聖書学	SBS210J	聖書学 I（旧約通論）	○	○	○		○
		SBS320J	聖書学 II（福音書）	○	○	○		○
		SBS330J	聖書学 III（モーセ五書）	○	○	○		○
		SBS340J	聖書学 IV（預言書・聖文書）	○	○	○		○
		SBS350J	聖書学 V（書簡）	○	○	○		○
		SBS210E	Biblical Studies I: Old Testament Survey	○	○	○		○
		SBS220E	Biblical Studies II: New Testament Survey	○	○	○		○
		SBS430E	Biblical Studies III: Approaches to Biblical Interpretation	○	○	○		○
		SBS440E	Biblical Studies IV: Topics in Biblical Theology	○	○	○		○
		SBS450E	Biblical Studies V: Selected Biblical Books	○	○	○		○
	Christian History and Tradition 組織神学・歴史神学	SCH210J	組織神学 I（神論・人間論・キリスト論）	○	○	○		○
		SCH220J	組織神学 II（救済論・教会論・終末論）	○	○	○		○
		SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）	○	○	○		○
		SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）	○	○	○		○
		SCH350J	歴史神学 III（旧約聖書史/考古学）	○	○	○		○
		SCH360J	歴史神学 IV（第二神殿時代史/考古学）	○	○	○		○
		SCH470J	歴史神学 V（信条学）	○	○	○		○
		SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）	○	○	○		○
		SCH310E	Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History	○	○	○		○
		SCH320E	Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History	○	○	○		○
		SCH330E	Christian History and Tradition III: The Heidelberg Catechism	○	○	○		○
		SCH340E	Christian History and Tradition IV: Science and Religion	○	○	○	○	○
		SCH450E	Christian History and Tradition V: Systematic Theology	○	○	○		○
		SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History	○	○	○		○

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	神学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	神学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。
	DP1：プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2：東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3：修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4：クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5：神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

科目区分		科目コード	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
Specializations	Practical Theology	実践神学	SPT210J 実践神学 I（宣教学）			○		○
			SPT220J 実践神学 II（メッセージの方法と実践）			○		○
			SPT330J 実践神学 III（説教学）			○		○
			SPT440J 実践神学 IV（説教演習）			○		○
			SPT450J 実践神学 V（礼拝学）			○		○
			SPT460J 実践神学 VI（牧会学）			○		○
			SPT470J 実践神学 VII（牧会カウンセリング）			○		○
			SPT210E Practical Theology I: Missiology			○		○
			SPT220E Practical Theology II: Public Speaking			○		○
			SPT230E Practical Theology III: Introduction to Christian Ministry in Japan			○		○
			SPT340E Practical Theology IV: Clinical and Pastoral Psychology			○		○
			SPT350E Practical Theology V: Christian Apologetics			○		○
			SPT360E Practical Theology VI: Philosophy and Theology of Music			○		○
	Youth Studies	ユース・スタディーズ	SYS210J ユース・ミニストリー I（神学と実践）			○	○	
			SYS320J ユース・ミニストリー II（思春期の理解）			○	○	
			SYS230J キリスト教教育 I（神学と理念）			○	○	
			SYS340J キリスト教教育 II（方法と実践）			○	○	
	Christian Social Work	キリスト教福祉	SCW201J キリスト教福祉 I（高齢者福祉）				○	
			SCW202J キリスト教福祉 II（キリスト教公共福祉論）				○	
			SCW203J キリスト教福祉 III（人間の尊厳とケア）				○	
			SCW204J キリスト教福祉 IV（人間関係とコミュニケーション）				○	
			SCW205J キリスト教福祉 V（こころとからだのしくみ）				○	
			SCW306J キリスト教福祉 VI（生活支援技術）				○	
			SCW307J キリスト教福祉 VII（障がいの理解）				○	
			SCW308J キリスト教福祉 VIII（社会福祉論）				○	
			SCW309J キリスト教福祉 IX（ソーシャルワーク）				○	
			SCW310J キリスト教福祉 X（精神保健福祉論）				○	
	Global Studies	グローバル・スタディーズ	SGS101J グローバル・スタディーズ I（異文化理解）				○	
			SGS101E Global Studies I: Intercultural Communication				○	
			SGS202J グローバル・スタディーズ II（グローバル・スタディーズ入門）				○	
			SGS202E Global Studies II: Introduction to Global Studies				○	
			SGS203J グローバル・スタディーズ III（日本文化論）				○	
			SGS203E Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics					
			SGS204J グローバル・スタディーズ IV（アフリカ文化論）				○	
			SGS204E Global Studies IV: Introduction to African Culture					
			SGS205E Global Studies V: Crucial Issues in Asia				○	
			SGS306J グローバル・スタディーズ VI（キリスト教と文化）				○	
			SGS307E Global Studies VII: Religion and Society in Japan				○	
			SGS308J グローバル・スタディーズ VIII（平和学）				○	
			SGS309E Global Studies IX: International Development				○	
			SGS309J グローバル・スタディーズ IX（国際協力論）				○	
			SGS310E Global Studies X: Japan Encounters the West				○	
			SGS311J グローバル・スタディーズ XI（韓国文化論）				○	
			SGS412E Global Studies XII: Religion and Public Policy				○	
			SGS413J グローバル・スタディーズ XIII（リーダーシップと組織マネジメント）				○	
			SGS414E Global Studies XIV: TESOL				○	
			SGS415J グローバル・スタディーズ XV（日本語教育）				○	
			SGS316E Global Studies XVI: Japanese Culture and Society				○	
Integrated Learning	Seminars	演習	IMS310J 専門演習（教会教職 1）			○	○	○
			IMS410J 専門演習（教会教職 2）			○	○	○
			IMS320J/E 専門演習（グローバル） / Major Seminar: Global Studies			○	○	○
			IMS330J 専門演習（ユース 1）			○	○	○
			IMS420J 専門演習（ユース 2）			○	○	○
			IMS340J 専門演習（キリスト教福祉）			○	○	○
			IMS350J/E 専門演習（神学教養） / Major Seminar: Christian Ministry			○	○	○
	Internships	実習	IIS311J/E 実習A（グローバル） / Internship A: Global Studies			○	○	○
			IIS321J/E 実習B（グローバル） / Internship B: Global Studies			○	○	○
			IIS331J/E 実習C（グローバル） / Internship C: Global Studies			○	○	○
			IIS341J 実習C（グローバル-韓国）			○	○	○
			IIS351J 実習A（ユース 1）			○	○	○
			IIS411J 実習A（ユース 2）			○	○	○
			IIS361J 実習A（福祉）			○	○	○
			IIS211J/E 実習A（キャリア） / Internship A: Career			○	○	○
	Graduation Project	卒研	IGP401J/E 卒業研究A（個人） / Graduation Thesis			○	○	○
			IGP402J/E 卒業研究B（協働） / Graduation Project			○	○	○

神学部 教育課程（カリキュラム）の特徴

東京基督教大学神学部では、TCUコア科目とキリスト教世界観に基づくリベラルアーツ教育と語学教育を基礎として、5つの専攻（教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養）に緩やかに分かれての専門教育を行います。

1. TCUコア科目

TCUコア科目は「TCUスタンダード」、「キリストと世界」、「霊的形成」、「クリスチャンライフ・フォーメーション」です。「TCUスタンダード」では、TCUの建学の精神や歴史などの自校教育をはじめとして、キリスト教世界観の形成と大学教育の基本的スキルを身に着けることを目指して学びます。「キリストと世界」はⅠ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)の3科目からなり、キリスト教世界観に基づいた神学の基礎を学びます。「霊的形成」は、キリスト者として豊かに生きることをトータルに扱います。「クリスチャンライフ・フォーメーション」では、チャペルや教会実習や寮教育まで本学でのクリスチャンライフ全体をふりかえる作業を行います。

2. キリスト教リベラルアーツ教育

リベラルアーツ (Liberal Arts) は、「自由人の学芸」を意味するラテン語 “*artes liberales*” の英語訳です。古代ギリシア・ローマでは、将来家庭、都市、国家を治めることになる自由人の男子に広い教養と専門的スキルを身につけさせました。キリスト教の伝統では、リベラルアーツは男女の区別なく、キリストの統治に参与する自由人の教養教育を指す言葉になりました。

本学では、キリスト教世界観に立った教養教育が行われます。なぜ教養教育がキリスト教世界観に立つことが求められるのでしょうか。キリスト教世界観は、“キリストが全世界と全ての民族の主であられること”に根拠を置きます。あらゆる真理探究は、キリストが治められる「全て」のどこかに係わっています。その意味で、信仰と学問の統合が要求されます。それは、信仰という基準で学問領域を見るということではありません。むしろ、神が全てを創造されたというキリスト教存在論的前提と、創造主なる神が一つひとつのものに意義を与えておられるという認識論的前提に立って、それぞれの学問領域に特有の方法論で真理を探究することが求められます。

キリスト教リベラルアーツの基盤をなす「初年次教育」として「基礎演習」「情報リテラシー」「キャリア教育」「Academic Research and Writing」が置かれています。「基礎演習」は、大学教育の導入とともに専攻教育の導入の役割も担っています。「情報リテラシー」では、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することを目指します。「キャリア教育」では、キリスト者として社会で働くことの職業観を考察し、また卒業後の進路を視野に入れながら、4年間の大学生活とキャリアプランを構築することを目指します。「Academic Research and Writing」は英語で学ぶための基礎をなすものです。

「初年次教育」に加えてキリスト教リベラルアーツの選択科目として「人文学」、「社会科学」、「グレー

トボックス」、「教会音楽」の4分野から満遍なく科目が提供されています。2年次以降に提供される教養科目は、神学と今日的問題の関連を意識させる、学際的な内容の科目が提供されています。

3. 言語教育

言語教育として、「英語」、「韓国語」、「中国語」、「日本語」、「ヘブライ語」、「ギリシア語」の6言語の科目が提供されます。日本語で学ぶ学生は「英語」を中心に、英語で学ぶ学生は「日本語」を中心に学びます。アジアの言語として「韓国語」と「中国語」、聖書学を専門的に学ぶため、特に教会教職を目指す学生に「ヘブライ語」「ギリシア語」の聖書原語科目が提供されます。

4. 専門科目

3年次以降は、5つの主専攻（教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養に分かれ、それぞれが定めるところの専門科目の履修が本格的に始まります。また副専攻（グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、教会音楽、Japanese Studies）の学びを並行することも可能です。また日本語トラックに所属していても英語により提供されている授業を履修することもできます。

5. 統合科目

3、4年生を対象に学びの実践と統合を目的とした演習・実習科目を設けています。また最終学年対象の卒業研究（個人・協働）を通して、学びのまとめに取り組むこともできます。

東京基督教大学 神学部 教育課程表

科目 区分	科目 コード	科目名	必修	1年次 入学 指定	隔 年	単 位
TCU Core TCU Core	CTS110J	TCUスタンダード 1	●			2
	CTS120J	TCUスタンダード 2	●			2
	CTS130J	TCUスタンダード 3	●			2
	CCW110J	キリストと世界 I (神学)	●			2
	CCW120J	キリストと世界 II (旧約)	●			2
	CCW130J	キリストと世界 III (新約)	●			2
	CSD100J	霊的形成	●			2
	CCF001J	クリスチャンライフ・フォーメーション 1	●			4
	CCF002J	クリスチャンライフ・フォーメーション 2	●			4
	CCF003J	クリスチャンライフ・フォーメーション 3		◎		4
	CCF004J	クリスチャンライフ・フォーメーション 4		◎		4
	CTS110E	TCU Standard 1	●			2
	CTS120E	TCU Standard 2	●			2
	CTS130E	TCU Standard 3	●			2
	CCW110E	Christ and the World I: Issues Facing the Church Today	●			2
	CCW120E	Christ and the World II: Issues Facing the Church through Time	●			2
	CCW130E	Christ and the World III: Issues Facing Ancient Israel and the Early Church	●			2
	CSD100E	Spiritual Development	●			2
	CCF001E	Christian Life Formation 1	●			4
	CCF002E	Christian Life Formation 2	●			4
	CCF003E	Christian Life Formation 3		◎		4
	CCF004E	Christian Life Formation 4		◎		4
Christian Liberal Arts キリスト教リベラルアーツ	First Year Education 初年次教育	RFY111J		◎		2
		RFY112J		◎		2
		RFY113J		◎		2
		RFY120J		◎		2
		RFY130J		◎		2
		RFY110E		◎		2
	Humanities 人文学	RHU110J				2
		RHU120J			○	2
		RHU230J				2
		RHU240J			○	2
		RHU350J				2
		RHU210E			○	2
		RHU220E			○	2
	Social Sciences 社会科学	RSS110J				2
		RSS120J				2
		RSS230J				2
		RSS240J				2
		RSS350J			○	2
		RSS210E			○	2
		RSS220E			○	2
	Great Books グレートブックス	RGB110E				2
		RGB120E				2
		RGB230E			○	2
		RGB240E			○	2
		RGB250E			○	2
		RGB360E			○	2
		RGB370E			○	2
	Church Music 教会音楽	RCM110J				2
		RCM220J			○	2
		RCM330J			○	2
		RCM140J				2
		RCM150J				2
		RCM160J				2
		RCM170J				2
		RCM180J				2
	Sports Education スポーツ教育	RSL110J				2
		RSL120J				2

科目 区分	科目 コード	科目名	必修	1年次 入学 指定	隔 年	単 位
Languages 言語	English 英語	LEN111J		◎		4
		LEN112J		◎		4
		LEN113J		◎		4
		LEN121J		◎		4
		LEN122J		◎		4
		LEN123J		◎		4
		LEN131J		◎		1
		LEN132J		◎		1
		LEN133J		◎		1
		LEN211J				4
		LEN212J				4
		LEN221J				4
		LEN222J				4
		LEN231J				1
		LEN232J				1
		LEN250J				1
		LEN260J				4
	Korean 韓国語	LK0210J				2
		LK0220J				2
		LK0330J				2
	Chinese 中国語	LZH210J				2
		LZH220J				2
	Japanese 日本語	LJA110E		◎		4
		LJA120E		◎		4
		LJA130E		◎		4
		LJA210E				4
		LJA220E				4
		LJA230E				4
		LJA310E				2
		LJA320E				2
		LJA330E				2
		LJA350E				2
		LJA360E				2
		LJA370E				2
		LJA281E				1
		LJA282E				1
		LJA283E				1
	Biblical Hebrew ヘブライ語	LBH310J				2
		LBH320J				2
		LBH330J				2
		LBH440J				1
		LBH450J				1
	Biblical Greek ギリシア語	LBG310J				2
		LBG320J				2
		LBG330J				2
		LBG440J				1
		LBG450J				1

科目 区分	科目 コード	科目名	必修	1年次 入学 指定	隔 年	単 位
Specializations	Biblical Studies 聖書学	SBS210J 聖書学 I (旧約通論)				2
		SBS320J 聖書学 II (福音書)				2
		SBS330J 聖書学 III (モーセ五書)				2
		SBS340J 聖書学 IV (預言書・聖文書)				2
		SBS350J 聖書学 V (書簡)				2
		SBS210E Biblical Studies I: Old Testament Survey			○	2
		SBS220E Biblical Studies II: New Testament Survey			○	2
		SBS430E Biblical Studies III: Approaches to Biblical Interpretation			○	2
		SBS440E Biblical Studies IV: Topics in Biblical Theology			○	2
		SBS450E Biblical Studies V: Selected Biblical Books				2
	Christian History and Tradition 組織神学・歴史神学	SCH210J 組織神学 I (神論・人間論・キリスト論)				2
		SCH220J 組織神学 II (救済論・教会論・終末論)				2
		SCH230J 歴史神学 I (古代・中世)				2
		SCH240J 歴史神学 II (宗教改革・近現代)				2
		SCH350J 歴史神学 III (旧約聖書史/考古学)			○	2
		SCH360J 歴史神学 IV (第二神殿時代史/考古学)			○	2
		SCH470J 歴史神学 V (信条学)				2
		SCH480J 歴史神学 VI (日本キリスト教通史)				2
		SCH310E Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History			○	2
		SCH320E Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History			○	2
		SCH330E Christian History and Tradition III: The Heidelberg Catechism			○	2
		SCH340E Christian History and Tradition IV: Science and Religion			○	2
		SCH450E Christian History and Tradition V: Systematic Theology			○	2
		SCH460E Christian History and Tradition VI: Japanese Church History			○	2
	Practical Theology 実践神学	SPT210J 実践神学 I (宣教学)				2
		SPT220J 実践神学 II (メッセージの方法と実践)				2
		SPT330J 実践神学 III (説教学)				2
		SPT440J 実践神学 IV (説教演習)				2
		SPT450J 実践神学 V (礼拝学)				2
		SPT460J 実践神学 VI (牧会学)				2
		SPT470J 実践神学 VII (牧会カウンセリング)				2
		SPT210E Practical Theology I: Missiology			○	2
		SPT220E Practical Theology II: Public Speaking			○	2
		SPT230E Practical Theology III: Introduction to Christian Ministry in Japan			○	2
	Youth Studies ユース・スタディーズ	SYS210J ユース・ミニストリー I (神学と実践)				2
		SYS320J ユース・ミニストリー II (思春期の理解)				2
		SYS230J キリスト教教育 I (神学と理念)				2
		SYS340J キリスト教教育 II (方法と実践)				2
	Christian Social Work キリスト教福祉	SCW201J キリスト教福祉 I (高齢者福祉)				2
		SCW202J キリスト教福祉 II (キリスト教公共福祉論)				2
		SCW203J キリスト教福祉 III (人間の尊厳とケア)				2
		SCW204J キリスト教福祉 IV (人間関係とコミュニケーション)				2
		SCW205J キリスト教福祉 V (こころとからだのしくみ)				2
		SCW306J キリスト教福祉 VI (生活支援技術)				2
		SCW307J キリスト教福祉 VII (障がいの理解)				2
		SCW308J キリスト教福祉 VIII (社会福祉論)				2
		SCW309J キリスト教福祉 IX (ソーシャルワーク)				2
		SCW310J キリスト教福祉 X (精神保健福祉論)			○	2

科目 区分	科目 コード	科目名	必修	1年次 入学 指定	隔 年	単 位
Specializations	Global Studies グローバル・スタディーズ	SGS101J グローバル・スタディーズ I (異文化理解)				2
		SGS101E Global Studies I: Intercultural Communication		◎		2
		SGS202J グローバル・スタディーズ II (グローバル・スタディーズ入門)				2
		SGS202E Global Studies II: Introduction to Global Studies				2
		SGS203J グローバル・スタディーズ III (日本文化論)				3
		SGS203E Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics				
		SGS204J グローバル・スタディーズ IV (アフリカ文化論)			○	2
		SGS204E Global Studies IV: Introduction to African Culture				
		SGS205E Global Studies V: Crucial Issues in Asia			○	2
		SGS306J グローバル・スタディーズ VI (キリスト教と文化)				2
		SGS307E Global Studies VII: Religion and Society in Japan				3
		SGS308J グローバル・スタディーズ VIII (平和学)			○	2
		SGS309E Global Studies IX: International Development			○	2
		SGS309J グローバル・スタディーズ IX (国際協力論)			○	2
		SGS310E Global Studies X: Japan Encounters the West			○	2
		SGS311J グローバル・スタディーズ XI (韓国文化論)				2
		SGS412E Global Studies XII: Religion and Public Policy			○	2
		SGS413J グローバル・スタディーズ XIII (リーダーシップと組織マネジメント)				2
		SGS414E Global Studies XIV: TESOL			○	2
		SGS415J グローバル・スタディーズ XV (日本語教育)			○	2
		SGS316E Global Studies XVI: Japanese Culture and Society				3
	Integrated Learning 統合	IMS310J 専門演習 (教会教職 1)				2
		IMS410J 専門演習 (教会教職 2)				2
		IMS320J/E 専門演習 (グローバル) / Major Seminar: Global Studies				2
		IMS330J 専門演習 (ユース 1)			○	2
		IMS420J 専門演習 (ユース 2)			○	2
		IMS340J 専門演習 (キリスト教福祉)				2
		IMS350J/E 専門演習 (神学教養) / Major Seminar: Christian Ministry				2
		IIS311J/E 実習A (グローバル) / Internship A: Global Studies				2
		IIS321J/E 実習B (グローバル) / Internship B: Global Studies				4
		IIS331J/E 実習C (グローバル) / Internship C: Global Studies				6
	Graduation Project 卒研	IIS341J 実習C (グローバル-韓国)				6
		IIS351J 実習A (ユース 1)				2
		IIS411J 実習A (ユース 2)				2
		IIS361J 実習A (福祉)				2
		IIS211J/E 実習A (キャリア) / Internship A: Career				2
		IGP401J/E 卒業研究A (個人) / Graduation Thesis				6
		IGP402J/E 卒業研究B (協働) / Graduation Project				6

科目コード

科目コード、科目名称の後ろにつく記号には、以下に示す法則により区分、科目名、履修目安年次が読み取れます。また、科目の履修条件を見極めるためにも役立ちます。

例 1

科目コード	科目名称
R F Y I O I J	基礎演習 A
① ② ③ ④ ⑤ ⑥	⑦

例 2

科目コード	科目名称
I M S 3 3 0 J	専門演習 (ユース I)
① ② ③ ④ ⑤ ⑥	⑦

1. 科目コード

① 科目の区分 英語表記の省略形 (左端 1 桁のアルファベット)

C・・・TCU コア	R・・・キリスト教リベラルアーツ
L・・・言語	S・・・専門
I・・・統合	

② 科目の名称 英語表記の省略形 (左から 2 つ目と 3 つ目の 2 桁のアルファベット)

TS・・・TCU スタandard	CW・・・キリストと世界	
SD・・・霊的形成	CF・・・クリスチャン・ライフ・フォーメーション	
FY・・・初年次教育	HU・・・人文学	SS・・・社会科学
CM・・・教会音楽	SL・・・スポーツ・リベラルアーツ	GB・・・Great Books
EN・・・英語	KO・・・韓国語	ZH・・・中国語
JA・・・日本語	BH・・・ヘブライ語	BG・・・ギリシア語
BS・・・聖書学	CH・・・組織・歴史神学	PT・・・実践神学
YS・・・ユース・スタディーズ	CW・・・キリスト教福祉	GS・・・グローバル・スタディーズ
MS・・・専門演習	IS・・・実習	GP・・・卒業研究

※ 例外として単位認定科目を TRANS で表します。

③ 履修目安年次 (左から 1 つ目の数字)

1・・・第 1 年次 2・・・第 2 年次 3・・・第 3 年次 4・・・第 4 年次

④-1 科目の名称のうち、科目の並び順 (左から 2 つ目の数字 1 桁)

④-2 科目の名称のうち、専門演習の区分 (左から 2 つ目の数字 1 桁)

1・・・教会教職 2・・・グローバル 3・・・ユース 4・・・キリスト教福祉 5・・・神学教養

④⑤ 「キリスト教福祉」科目、「グローバル・スタディーズ」科目の区分内の並び順

(左から 2 つ目と 3 つ目の数字 2 桁)

⑤ 同一科目 (基礎演習、Total English) の履修クラスの識別 (左から 3 つ目の数字 1 桁)

1・・・A 2・・・B 3・・・C 4・・・D

⑥ 授業提供言語 (右端のアルファベット 1 文字)

J・・・日本語科目 E・・・英語科目

2. 科目名称の後ろにつく記号 ⑦

アラビア数字: 1、2、3、4・・・履修順序あり (上記「例 2」参照)

ローマ数字: I、II、III、IV・・・履修順序なし

アルファベット: A、B、C・・・クラス別 (上記「例 1」参照)

単 位

単位制度と科目の種類

本学の科目はすべて単位制です。単位数は科目によって異なります。指定された期間に履修登録した科目の授業を受け、かつ所定の試験に合格すると、その科目に与えられている単位を修得できます。（学則第25条）。

授業科目は、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」があります。（学則第23条）

必 修 科 目	本学で必ず修得すべき科目
選 択 科 目	必修科目以外の提供科目のうち卒業要件単位数にカウントされる科目
自 由 科 目	卒業要件単位数にカウントされない科目

単位の基準

授業科目の単位数は、1単位の履修時間を教室内(授業)および教室外(自習)を合わせて 45時間とし、次の基準で計算されます。（学則第24条）

単位計算の基準	
教室内の学習時間	教室外の学習時間
1週1時間の授業×15週＝1単位	1時間の授業に対し、2時間

履修単位数

卒業までに取得すべき単位数は以下のとおりです。

1) 1年次入学

区分		単位数	科 目
必 修	TCU コア	22	TCU スタンダードⅠ～Ⅲ、霊的形成、キリストと世界Ⅰ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)、クリスチャンライフ・フォーメーションⅠ、Ⅱ
選 択	1年次指定	23	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、Total English Ⅰ～Ⅲ、クリスチャンライフ・フォーメーションⅢ、Ⅳ
	専攻	40	各専攻が指定する科目
	その他	39	個人が自由選択する科目 副専攻科目
卒業要件の履修単位数		124	※左記の履修単位数以上を習得すること

英語トラックでは必修科目区分、1年次指定区分の単位数が異なります。英語学修の手引き「ACADEMIC HANDBOOK」参照。

2) 2 年次編入学

区 分		卒業要件 単位数	認定単位数 (最大 <u>30</u> 単位)	TCU で修得 すべき単位数	科 目
必修	TCU コア	22	0	22	TCU スタンダードⅠ～Ⅲ、霊的形成、 キリストと世界Ⅰ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)、 クリスチャンライフ・フォーメーションⅠ、Ⅱ
選択	Ⅰ年次指定	19	19	0	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、 Total EnglishⅠ～Ⅲ、 クリスチャンライフ・フォーメーションⅣ
	Ⅱ年次指定	4	0	4	クリスチャンライフ・フォーメーションⅢ
	専攻	40	0	40	各専攻が指定する科目
	その他	39	11	28	個人が自由選択する科目 副専攻科目
小計		124	30	94	※左記の履修単位数以上を習得すること
計			124		

3) 3 年次編入学

区 分		卒業要件 単位数	認定単位数 (最大 <u>60</u> 単位)	TCU で修得 すべき単位数	科 目
必修	TCU コア	22	0	22	TCU スタンダードⅠ～Ⅲ、霊的形成、 キリストと世界Ⅰ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)、 クリスチャンライフ・フォーメーションⅠ、Ⅱ
選択	Ⅰ年次指定	23	23	0	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、 Total English Ⅰ～Ⅲ、 クリスチャンライフ・フォーメーションⅢ、Ⅳ
	専攻	40	0	40	各専攻が指定する科目
	その他	39	37	2	個人が自由選択する科目 副専攻科目
小計		124	60	64	※左記の履修単位数以上を習得すること
計			124		

主専攻と副専攻

3年次から専攻を選択します。

【主専攻】

教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養

- ① 主専攻の修了要件単位は40単位。
- ② 主専攻を2つ選択することはできない。
- ③ 専攻指定の要件を満たした場合、専攻名を成績証明書に記載。

【副専攻】

グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、教会音楽、Japanese Studies

- ① 副専攻の修了要件単位は16単位。
- ② 修了要件として個別科目の成績基準は設けないが、すべての科目の平均 GPA を 2.50 以上とする。
- ③ 主専攻と同一名称（グローバル・ユース・キリスト教福祉）の副専攻はとれない。
- ④ 主専攻と副専攻とで同一科目が指定されている場合、両方の要件としてカウントできるが、複数の副専攻で同一科目が指定されている場合は、両方の要件としてカウントできない。
- ⑤ 複数の副専攻修了を目指すことは可能だが、単年度内で履修可能な時間割は保証しない。
- ⑥ 副専攻要件を満たし、卒業前に所定の申請手続きをした場合、副専攻名を成績証明書に記載。

教会教職専攻

〈教育目標〉

教会教職者（牧師、宣教師、伝道師など）への召しに応え、福音主義に立脚した神学諸分野（聖書・組織・歴史・実践）を有機的に統合した学びに取り組む。個々の賜物と召しを重んじ、各教会・教団教派の特徴を尊びつつ、包括的福音の担い手を自覚する教会教職者の養成を目指す。

区分	科目コード	科目名	主専攻	
			指定	推奨
リベラルスアート教	RHU110J	人文学 I（文学）		2
	RHU120J	人文学 II（西洋思想）		2
	RHU230J	人文学 III（東洋思想）		2
	RHU240J	人文学 IV（キリスト教倫理）		2
	RHU350J	人文学 V（キリスト教哲学）		2
	RCM220J	教会音楽 II（教会音楽の歴史）		2 隔年開講
	RCM330J	教会音楽 III（教会音楽の実践）	2	隔年開講
ヘブライ語	LBH310J	ヘブライ語 I（文法1）	2	
	LBH320J	ヘブライ語 2（文法2）	2	
	LBH330J	ヘブライ語 3（文法3）		2
	LBH440J	ヘブライ語 4（講読1）		1
	LBH450J	ヘブライ語 5（講読2）		1
ギリシア語	LBG310J	ギリシア語 I（文法1）	2	
	LBG320J	ギリシア語 2（文法2）	2	
	LBG330J	ギリシア語 3（文法3）		2
	LBG440J	ギリシア語 4（講読1）		1
	LBG450J	ギリシア語 5（講読2）		1
聖書学	SBS210J	聖書学 I（旧約通論）	2	
	SBS320J	聖書学 II（福音書）	2	
	SBS330J	聖書学 III（モーセ五書）		2
	SBS340J	聖書学 IV（預言書・聖文書）		2
	SBS350J	聖書学 V（書簡）	2	
組織神学・歴史神学	SCH210J	組織神学 I（神論・人間論・キリスト論）	2	
	SCH220J	組織神学 II（救済論・教会論・終末論）	2	
	SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）	2	
	SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）	2	
	SCH350J	歴史神学 III（旧約聖書史/考古学）		2 隔年開講
	SCH360J	歴史神学 IV（第二神殿時代史/考古学）		2 隔年開講
	SCH470J	歴史神学 V（信条学）		2
	SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）	2	
実践神学	SPT210J	実践神学 I（宣教学）	2	
	SPT220J	実践神学 II（メッセージの方法と実践）		2
	SPT330J	実践神学 III（説教学）	2	
	SPT440J	実践神学 IV（説教演習）	2	
	SPT450J	実践神学 V（礼拝学）	2	
	SPT460J	実践神学 VI（牧会学）	2	
	SPT470J	実践神学 VII（牧会カウンセリング）		2
グローバル	SGS101J	グローバル・スタディーズ I（異文化理解）		2
キリスト教福祉	SCW308J	キリスト教福祉 VIII（社会福祉論）		2
統合	IMS310J	専門演習（教会教職 1）	2	
	IMS410J	専門演習（教会教職 2）	2	
指定科目・推奨科目 単位数 計			40	38

グローバル・スタディーズ専攻（主・副）

＜教育目標＞

世界の痛みのあるところに神の愛と平和をもたらすために、異文化の人々と協働することのできる実践的な力を持った人を育成する。
国内外の社会問題について多様な視点から分析し、創造的に発想しながら問題解決に向けて自ら行動できる力を養う。

Major/Minor in Global Studies

＜Educational goal＞

This major seeks to nurture the practical ability in students to collaborate with people of different cultures to spread God's love and peace to hurting areas of the world. It seeks to develop the ability to take initiative and action in considering social problems in and outside Japan at various levels, and to creatively work towards solutions.

科目 区分	科目コード Course Code	科目名 Courses	主専攻 Major		副専攻 Minor		隔年開講 Biennial
			指定 Designated	選択 Elective	指定 Designated	選択 Elective	
Language	LEN211-2J	Total English 4 (A/B)		4		4	
	LEN221-2J	Total English 5 (A/B)		4		4	
	LEN231-2J	Total English 6 (A/B)		1		1	
	LEN250J	Pre-English Intensive Study Abroad		1			
	LEN260J	English Intensive Study Abroad		4		4	
	LK0210J	韓国語 1 (基礎)		2		2	
	LK0220J	韓国語 2 (初級)		2		2	
	LK0330J	韓国語 3 (中級)		2		2	
	LZH210J	中国語 1 (基礎と台湾文化入門)		2		2	
	LZH220J	中国語 2 (初級)		2		2	
	LBH310J	ヘブライ語 1 (文法1)		2		2	
	LBH320J	ヘブライ語 2 (文法2)		2		2	
	LBH330J	ヘブライ語 3 (文法3)		2		2	
	LBH440J	ヘブライ語 4 (講読1)		1		1	
	LBH450J	ヘブライ語 5 (講読2)		1		1	
	LBG310J	ギリシア語 1 (文法1)		2		2	
	LBG320J	ギリシア語 2 (文法2)		2		2	
	LBG330J	ギリシア語 3 (文法3)		2		2	
	LBG440J	ギリシア語 4 (講読1)		1		1	
	LBG450J	ギリシア語 5 (講読2)		1		1	
	LJA210E	Intermediate Japanese Language and Culture 1		4			
	LJA220E	Intermediate Japanese Language and Culture 2		4			
	LJA230E	Intermediate Japanese Language and Culture 3		4			
	LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture (Fall)		2		2	
	LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture (Winter)		2		2	
	LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture (Spring)		2		2	
	LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening (Fall)		2		2	
	LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening (Winter)		2		2	
	LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening (Spring)		2		2	
	LJA250E	Mastering Kanji 1		1			
	LJA260E	Mastering Kanji 2		1			
	LJA270E	Mastering Kanji 3		1			
	RFY110E	Academic Research and Writing ※ Japanese track student only		2			
	「言語」区分から			10		4	
Global Studies	SGS101J	グローバル・スタディーズ I (異文化理解)	2		2		
	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication					
	SGS202J	グローバル・スタディーズ II (グローバル・スタディーズ入門)	2		2		
	SGS202E	Global Studies II: Introduction to Global Studies					
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III (日本文化論)		3		3	
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics					
	SGS204J	グローバル・スタディーズ IV (アフリカ文化論)		2		2	●
	SGS204E	Global Studies IV: Introduction to African Culture					
	SGS205E	Global Studies V: Crucial Issues in Asia	2		2	2	●
	SGS306J	グローバル・スタディーズ VI (キリスト教と文化)	2		2	2	
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan	3		3	3	
	SGS308J	グローバル・スタディーズ VIII (平和学)	2		2	2	●
	SGS309E	Global Studies IX: International Development	2		2	2	●
	SGS309J	グローバル・スタディーズ IX (国際協力論)	2		2	2	●
	SGS310E	Global Studies X: Japan Encounters the West	2		2	2	●
	SGS311J	グローバル・スタディーズ XI (韓国文化論)	2		2	2	
	SGS412E	Global Studies XII: Religion and Public Policy	2		2	2	●
	SGS413J	グローバル・スタディーズ XIII (リーダーシップと組織マネジメント)	2		2	2	
	SGS414E	Global Studies XIV: TESOL	2		2	2	●
	SGS415J	グローバル・スタディーズ XV (日本語教育)	2		2	2	●
	SGS316E	Global Studies XVI : Japanese Culture and Society	3		3	3	
	「グローバル」区分から			4	10	4	6
Humanities / Great Books / Christian History and Tradition	RHU120J	人文学 II (西洋思想)		2			●
	RHU230J	人文学 III (東洋思想)		2			
	RHU240J	人文学 IV (キリスト教倫理)		2			●
	RHU210E	Humanities I: Survey of Western Philosophy		2			●
	RHU220E	Humanities II: Christian Ethics		2			●
	RGB110E	Great Books I: Western Philosophy		2			
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature		2			
	RGB230E	Great Books III: World Literature		2			●
	RGB240E	Great Books IV: Social Sciences		2			●
	RGB250E	Great Books V: Natural Sciences		2			●
	RGB360E	Great Books VI: Sacred Books of the East		2			●
	RGB370E	Great Books VII: Christian Classics		2			●
	SCH230J	歴史神学 I (古代・中世)		2			
	SCH240J	歴史神学 II (宗教改革・近現代)		2			
	SCH480J	歴史神学 VI (日本キリスト教通史)		2			
	SCH310E	Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History		2			●
	SCH320E	Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History		2			●
	SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History		2			●
	SPT210J	実践神学 I (宣教学)		2			
	SPT210E	Practical Theology I: Missiology		2			●
	「人文・GB・歴史神学・実践神学」区分から			8			
Integrated	IMS320J/E	専門演習 (グローバル) / Major Seminar: Global Studies	2		2		
	IIS311J/E	実習A (グローバル) / Internship A: Global Studies		2			2
	IIS321J/E	実習B (グローバル) / Internship B: Global Studies		4			4
	IIS331J/E	実習C (グローバル) / Internship C: Global Studies		6			6
	IIS341J	実習C (グローバル-韓国)		6			6
	IGP401J/E	卒業研究A (個人) / Graduation Thesis		6			
	IGP402J/E	卒業研究B (協働) / Graduation Project		6			
	「統合」区分から			2	6	2	
指定科目・選択科目 単位数 計			6	34	6	10	
主専攻・副専攻 単位数 計			40		16		

* LEN211J, LEN250J, LEN260J, and RFY110E don't fulfill the major requirements for English track students.
* Japanese Language科目は日本語トラック生は対象外です。

ユース・スタディーズ主専攻

〈教育目標〉

ユース（思春期の若者）の文化、および心理的・社会的発達のプロセスや課題を理解し、彼らの全人的な成長を促し支えるリーダーシップを養うことを目指す。また、聖書の言葉をユースの実践的問題解決につなげるために神学する力を養う。

科目 区分	科目 コード	科目名	主専攻		副専攻
			指定	選択	指定
リベラル アート教 育	RSS230J	社会科学 III（心理学 I）	2		2
	RSS240J	社会科学 IV（心理学 II）	2		2
	RCM110J	教会音楽 I（ミュージックミニストリー）	2		
ユース	SYS210J	ユース・ミニストリー I（神学と実践）	2		2
	SYS320J	ユース・ミニストリー II（思春期の理解）	2		2
	SYS230J	キリスト教教育 I（神学と理念）	2		2
	SYS340J	キリスト教教育 II（方法と実践）	2		2
実践 神学	SPT210J	実践神学 I（宣教学）	2		
	SPT220J	実践神学 II（メッセージの方法と実践）	2		
統合	IMS330J	専門演習（ユース I）	2		2
	IMS430J	専門演習（ユース 2）	2		
	IIS411J	実習A（ユース I）	2		2
	IIS412J	実習A（ユース 2）	2		
	IGT401J/E	卒業研究A（個人）	6		
聖書学	SBS210J	聖書学 I（旧約通論）		2	
	SBS320J	聖書学 II（福音書）		2	
	SBS330J	聖書学 III（モーセ五書）		2	
	SBS340J	聖書学 IV（預言書・聖文書）		2	
	SBS350J	聖書学 V（書簡）		2	
組織 神学・ 歴史 神学	SCH210J	組織神学 I（神論・人間論・キリスト論）		2	
	SCH220J	組織神学 II（救済論・教会論・終末論）		2	
	SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）		2	
	SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）		2	
	SCH350J	歴史神学 III（旧約聖書史/考古学）		2	
	SCH360J	歴史神学 IV（第二神殿時代史/考古学）		2	
	SCH470J	歴史神学 V（信条学）		2	
	SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）		2	
指定科目・選択科目 単位数 計			32	8	16
主専攻・副専攻 単位数 計			40		16

キリスト教福祉専攻（主・副）

〈教育目標〉

基礎的な聖書・神学の理解を土台に、キリスト教福祉の考え方と実践力を養う。特定の領域に縛られず、人々と共に生きる福祉や教会と福祉のあり方等のテーマを、介護・ソーシャルワーク双方から広く学び、将来のクリスチャン福祉ワーカーとしての働きに資するスピリット・知識と技術を培う。

科目区分	科目コード	科目名	主専攻		副専攻	
			指定	選択	指定	選択
リベラルアート教養	RHU240J	人文学Ⅳ（キリスト教倫理）		2		
	RHU350J	人文学Ⅴ（キリスト教哲学）		2		
	RSS110J	社会科学Ⅰ（保育学）		2		2
	RSS230J	社会科学Ⅲ（心理学Ⅰ）		2		2
	RSS240J	社会科学Ⅳ（心理学Ⅱ）		2		2
キリスト教福祉	SCW201J	キリスト教福祉Ⅰ（高齢者福祉） 旧名（介護福祉）		2		2
	SCW202J	キリスト教福祉Ⅱ（キリスト教公共福祉論）	2			2
	SCW203J	キリスト教福祉Ⅲ（人間の尊厳とケア） 旧名（人間の尊厳と自立）	2		2	
	SCW204J	キリスト教福祉Ⅳ（人間関係とコミュニケーション）	2			2
	SCW205J	キリスト教福祉Ⅴ（こころとからだのしくみ）		2		2
	SCW306J	キリスト教福祉Ⅵ（生活支援技術）		2		2
	SCW307J	キリスト教福祉Ⅶ（障がいの理解）		2		2
	SCW308J	キリスト教福祉Ⅷ（社会福祉論）	2		2	
	SCW309J	キリスト教福祉Ⅸ（ソーシャルワーク） 旧名（対人援助と問題解決法）	2		2	
	SCW310J	キリスト教福祉Ⅹ（精神保健福祉論）		2		2
グローバル	SGS413J	グローバル・スタディーズⅩⅢ（リーダーシップと組織マネジメント）	2			
	SGS101J	グローバル・スタディーズⅠ（異文化理解）		2		
	SGS202J	グローバル・スタディーズⅡ（グローバル・スタディーズ入門）		2		
	SGS309J	グローバル・スタディーズⅨ（国際協力論）		2		
統合	IMS340J	専門演習（キリスト教福祉）	2		2	
	IIS361J	実習A（福祉）	2			2
	IIS211J	実習A（キャリア）				2
歴史神学・組織神学	SBS210J	聖書学Ⅰ（旧約通論）		2		
	SBS320J	聖書学Ⅱ（福音書）		2		
	SCH210J	組織神学Ⅰ（神論・人間論・キリスト論）		2		
	SCH220J	組織神学Ⅱ（救済論・教会論・終末論）		2		
	SCH230J	歴史神学Ⅰ（古代・中世）		2		
	SCH240J	歴史神学Ⅱ（宗教改革・近現代）		2		
	SPT210J	実践神学Ⅰ（宣教学）		2		
指定科目・選択科目 単位数 計			16	※2 24	8	※3 8
主専攻・副専攻 単位数 計			40		16	

※1

※1 副専攻では、実習A（福祉）もしくは実習A（キャリア）から1科目を選択すること。

※2 主専攻の全科目区分の選択科目から24単位を修得

※3 副専攻の全科目区分の選択科目から8単位を修得

神学教養専攻

〈教育目標〉

すべてのキリスト者が神に召された献身者であると考え、それぞれのキリストにある天職を求め、それに応えていくことを目指す。あらゆる事柄についてキリスト教独自の視点で考え、日常生活の全領域において、聖書の言葉に根ざした思想をもって行動する力を養う。

Major in Theological Studies

〈Educational goal〉

All Christians are called to serve God, and God can be served through all vocations. The aim of this major is to help students answer that calling. It equips students to consider every issue from the perspective of a Christian standpoint, and to use the Bible as the basis in thinking and in taking action in all areas of daily life.

科目区分（大）		科目区分（小）	選択	備考
Christian Liberal Arts	リベラル アーツ	人文学 / Humanities	提供科目から	
		社会科学 / Social Sciences	提供科目から	
		グレートブックス / Great Books	提供科目から	
		教会音楽 / Church Music	提供科目から	
		スポーツ / Physical Education	提供科目から	
Languages	言語	英語	提供科目から	日本語トラック生のみ
		韓国語	提供科目から	
		中国語	提供科目から	
		Japanese Language	提供科目から	English Track only
		ヘブライ語	提供科目から	
		ギリシア語	提供科目から	
Specializations	専門	聖書学 / Biblical Studies	提供科目から	
		組織神学・歴史神学 / Chrustian Histor and Tradition	提供科目から	
		実践神学 / Practical Theology	提供科目から	
		グローバル・スタディーズ / Global Studies	提供科目から	
		ユース・スタディーズ / Youth Studies	提供科目から	
		キリスト教福祉 / Christian Social Work	提供科目から	
Integrated Learning	統合	専門演習 / Major Seminar	提供科目から	専門演習（神学教養）
		実習 / Internship	提供科目から	実習（キャリア）
		卒業研究 / Graduation Thesis	提供科目から	
単位数 計			40以上	

※1 神学部で提供される科目から40単位以上修得すること。Students should take more than 40 credits from the curriculum.

Minor in Japanese Studies Requirements

(Those who entered in August 2024 or later)

Course Category	Course Code	Course Title	Minor	Offered every other year
			Elective	
Language	LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture (Fall)	2	
	LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture (Winter)	2	
	LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture (Spring)	2	
	LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening (Fall)	2	
	LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening (Winter)	2	
	LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening (Spring)	2	
	LJA250E	Mastering Kanji 1	1	
	LJA260E	Mastering Kanji 2	1	
	LJA270E	Mastering Kanji 3	1	
	Total from Language		6	
Global Studies	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication	2	
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III（日本文化論）	3	
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics		
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan	3	
	SGS310E	Global Studies X: Japan Encounters the West	2	○
	SGS316E	Global Studies XVI: Japan Culture and Society	3	
	SGS415J	グローバル・スタディーズ XV（日本語教育）	2	○
Other	RHU230J	人文学 III（東洋思想）	2	
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature	2	
	SHT480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）	2	
	SHT460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History	2	○
	Total from Global Studies and Other		10	
Total			16	

教会音楽（副）

科目 区分	科目コード	科目名	副専攻	
			指定	選択
教会音楽	RCM110J	教会音楽 I（ミュージックミニストリー）	2	
	RCM220J	教会音楽 II（教会音楽の歴史）	2	隔年開講
	RCM330J	教会音楽 III（教会音楽の実際）	2	隔年開講
	RCM140J	教会音楽 IV（クワイア1）	2	
	RCM240J	教会音楽 IV（クワイア2）	2	
	RCM340J	教会音楽 IV（クワイア3）		
	RCM440J	教会音楽 IV（クワイア4）		
	RCM150J	教会音楽 V（オルガンレッスン1）		4 ※ I
	RCM250J	教会音楽 V（オルガンレッスン2）		
	RCM350J	教会音楽 V（オルガンレッスン3）		
	RCM450J	教会音楽 V（オルガンレッスン4）		
	RCM160J	教会音楽 VI（ピアノレッスン1）		4 ※ I
	RCM260J	教会音楽 VI（ピアノレッスン2）		
	RCM360J	教会音楽 VI（ピアノレッスン3）		
	RCM460J	教会音楽 VI（ピアノレッスン4）		
	RCM170J	教会音楽 VII（声楽レッスン1）		4 ※ I
	RCM270J	教会音楽 VII（声楽レッスン2）		
	RCM370J	教会音楽 VII（声楽レッスン3）		
	RCM470J	教会音楽 VII（声楽レッスン4）		
	RCM180J	教会音楽 VIII（ギターレッスン1）		4 ※ I
	RCM280J	教会音楽 VIII（ギターレッスン2）		
	RCM380J	教会音楽 VIII（ギターレッスン3）		
	RCM480J	教会音楽 VIII（ギターレッスン4）		
実践	SPT450J	実践神学 V（礼拝学）	2	
指定科目・選択科目 単位数 計			12	4
単位数 計			16	

※ I 選択科目（4単位）は、同一科目レッスン2ヶ年修得すること。

「ユース・プログラム主事」認証制度

(1)「ユース・プログラム主事」とは

「ユース・プログラム主事」は、東京基督教大学神学部において、ユーススタディーズ専攻の学びを終えられた学生を対象にした、本学独自の認証資格です。聖書学および神学の学びの上に、ユース（思春期の若者）に関する心理学、教育学、社会学等の視点からの学びを積み上げ、ユースを良く理解し、彼らと良好な関係性を築くことができる学生、またユースのための様々な活動を計画・立案し、その遂行に携わることができる学生に対して、授与されるものです。

(2) 認証の要件

「ユース・プログラム主事」の認証条件は、以下の2点です。

1. 総合神学科ユース・スタディーズ主専攻で指定された要件を満たすこと
2. 認証要件の科目全体の GPA が 2.50 以上であること

(3) 認証

- ・ユース・スタディーズ専攻で認証要件を満たした学生には、卒業時に認証状を発行します。
- ・ユース・スタディーズ専攻以外を修了した者で、卒業後に必要な単位を取得し認証要件を満たした場合に、認証状を発行します。

自身が修了した主専攻と本認証制度の要件で同一科目が指定されている場合は、両方の要件としてカウントできません。下表の「選択・その他」の区分で認証要件に指定された科目を満たす必要があります。

なお、認証要件を満たしても遡ってユース・スタディーズ専攻を修了したことにはなりません。

区 分		
必修	TCU コア	TCU スタンダード 等
選択	I 年次指定	基礎演習 等
	専攻	卒業時に修めた主専攻の要件科目（40 単位）
	その他	上記の「選択・専攻」区分でカウントした科目 <u>以外</u>

本学大学院では、大学院在学中に学部科目も履修する事ができます。また認証要件として指定された科目のいくつかを大学院科目に振り替えることも可能です。大学院への進学を希望で認証に関心のある学生は、早めにユース・スタディーズ専攻の教員(岡村先生、徐先生)、または教務部へ相談ください。

東京基督教大学で発行される社会福祉主事任用資格の概要

(1) 社会福祉主事任用資格とは

この資格は福祉事務所の現業員として任用される者に要求される資格(任用資格)です。したがって卒業と同時に社会福祉主事と呼ばれるのではなく、福祉事務所の現業員になったときに、はじめて社会福祉主事と呼ばれます。

この資格を取得すれば、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、老人福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、障害者自立支援法などの福祉に関する相談、指導、援助の業務に従事する職員の資格基準などに準用され、卒業後、福祉関係の業務に携わる場合に選定の基準として考慮される場合があります。

(2) 本学における任用資格取得要件

当資格の取得要件は、社会福祉法 19 条 1 項に基づき「大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者」となっています。本学では、以下の指定科目から 3 科目以上を履修・単位取得した学生が取得できます。

厚労省指定科目名	本学の科目名
社会福祉概論	キリスト教福祉 VIII (社会福祉論)
老人福祉論	キリスト教福祉 I (高齢者福祉) 2025 年度以降
精神障害者保健福祉論	キリスト教福祉 X (精神保健福祉論)
心理学	社会科学 III (心理学 I)*、社会科学 IV (心理学 II)*
社会福祉援助技術論	キリスト教福祉 IX (ソーシャルワーク) 2025 年度以降
保育理論	社会科学 I (保育学)
介護概論	キリスト教福祉 I (介護福祉) 2024 年度まで

*科目が(〇〇Ⅰ)、(〇〇Ⅱ)と続きがある場合は両方を履修する必要があります。

- ・ 指定科目 3 科目以上に加えて、実習 A (福祉) または福祉施設で行う実習 A (キャリア) の単位取得を強く推奨します。
- ・ 編入生は単位認定が可能な場合があります。早めに教務部に相談してください。

(3) 社会福祉に関する科目の修得証明書

社会福祉法第 19 条第 1 号に該当する者であることを証明する「社会福祉に関する科目の修得証明書」は卒業時に一回限り発行します。要件を満たした希望者は、指定された期日までに指定された方法で申請してください。申請がなければ発行しません。また再発行はできません。

- (4) 社会福祉主事任用資格の対象は学部生です。大学院生が学部科目を履修・単位取得しても、「社会福祉に関する科目の修得証明書」を発行することはできません。

履修登録

履修計画

大学での学習は、自分の興味や関心、卒業後の進路などに応じて、自主的に行なうものです。カリキュラム構成を知り、履修指導教員と相談しながら、「何を学びたいのか・何を身につけたいのか」をよく考えて、目標に応じて1年間の履修計画を立ててください。計画を作成するにあたって、必修科目を確実に履修し、進級基準、卒業要件等を無理なく満たすように心がけてください。

履修登録

履修登録は、自らがその年度に学びを希望する科目を修得するために教務部へ届け出る手続きです。科目を履修し単位を修得するためには、履修登録を行わなければなりません。履修指導教員と相談し、その年度に履修する科目を決定し、履修登録期間内に登録の手続きを完了してください。

履修登録手続を行わない場合、大学を除籍される可能性もありますので、遺漏なく登録を行ってください。

履修登録は学生自身がWeb上にて行います。詳細は履修ガイダンス及びTCUポータル上にある履修関係の資料で確認してください。

各学期の履修単位数モデル

春学期	秋学期	冬学期	通年	合計
10単位	10単位	10単位	4単位	34単位

履修登録の流れ

- (1) 今までの単位修得状況をTCUオンラインで確認する。
- (2) 履修ガイダンスに出席したり、履修指導教員等に履修について相談する。

履修に関する資料 TCUポータル>学修関係メニュー>履修関係>履修ガイダンス資料

- (3) 今年度履修する科目を決めて、履修登録期間（3月）に[Webシラバス\(履修システム\)](#)から登録する。(聴講科目は登録しない。)

聴 講

聴講は、定期試験の受験資格またはレポート提出の資格はなく、成績の記録は残りません。

学部生が学部科目の聴講を希望する場合は、科目担当教員の許可を得てください。担当教員が聴講を許可したのち、TCU オンラインの当該科目ページが閲覧できるようになります。

一度履修登録した科目を聴講に変更する場合は、履修変更期間または履修取消(追加)期間に履修科目の取消しを行った上で、科目担当教員へ聴講希望の連絡を行ってください。履修取り消しをせずに聴講した場合、科目担当教員から聴講の許可を得ていても、その科目の成績は「F」になります。

再履修

再履修とは、成績評価を受けた科目を再度履修することです。

再履修を希望する場合、履修登録期間に指定のフォームから教務部へ連絡し、再履修科目登録料(5,000円)を納入してください。

合格の成績評価を受けた科目でも、再履修することもできます。再履修した科目は、最高評価を採用し、最高評価以外の同一科目の成績表示は「R」(再履修)とします。

同一科目を再受講する以下の場合も履修登録期間に指定フォームの提出は必要ですが、再履修科目登録料は不要です。

- ・2024年度以前に履修停止した科目を履修する。
- ・2024年度以前に聴講した科目を履修する。

履修変更

- (1) 6月(秋学期科目)と10月(冬学期科目)には履修変更期間があります。履修変更期間には履修科目の追加・取消ができます。履修変更期間中の科目追加・取消は無料です。
- (2) 各学期の授業開始から1週間は、履修科目の取消(追加)手続きをすることができます。
 - ・科目の取消し(無料)
 - ・科目の追加(1科目につき履修変更手数料5,000円が必要)
- (3) 一度履修登録した科目を聴講に変更する場合は、履修変更期間または履修取消(追加)期間に履修科目の取消しを行った上で、科目担当教員へ聴講希望の連絡を行ってください。
- (4) 指定期間外の履修変更は認められません。
- (5) 通年科目や演習科目等については下表のルールとします。

科目	履修登録	履修登録の追加	履修取消し
演習科目 (通年開講)	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
演習科目 (春・秋開講)	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
演習科目 (秋・冬開講)	3月または6月の 履修登録期間	秋学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
実習科目	3月、6月、10月の 履修登録期間	学生は担当教員に相談し、 担当教員から教務部へ連絡	学生は担当教員に相談し、 担当教員から教務部へ連絡
卒業研究	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
器楽レッスン	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	秋または冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
クワイア	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	秋または冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)

履修制限

- (1) 同一時限に複数の科目を履修することはできません。
(2) キャップ制度（履修単位数の上限）

前年度 GPA	評価	上限(学期)	上限(年間)	備考
3.3 以上	B+(89-87) 平均	14 単位	48 単位	通年：CLF(4 単位)、 実習等(2 単位)
2.3 以上-3.3 未満	B-~B	12 単位	42 単位	通年：CLF(4 単位)、 実習等(2 単位)
2.3 未満	C+(79-77) 平均	10 単位	34 単位	通年：CLF(4 単位)

- ・ CLF：クリスチャンライフフォーメーション
- ・ 学期あたりの標準履修単位数は10単位です。

- (3) ミニマム制度（履修単位数の下限）

- ① 1～3年次の年間履修単位数の下限は18単位です(通年科目の単位は含みません)。継続的な履修を行なうために、この下限を超えるよう履修登録し、単位を修得しなければなりません。
② 各学期の習得単位数6単位未満の学生には警告が出されます。但し、休学の学期はカウントしません。

1回目の警告（習得単位数6単位未満）

履修指導担当教員または学習支援担当教職員が本人と面談します。教務部長または教務部長補佐が必要と判断した場合は、保護者または保証人との面談を実施します。

2回目の警告（2学期連続習得単位数6単位未満）：

教務部長から書面で本人に成績不振の状況を通知し、教務部長または教務部長補佐が本人と面談します。教務部長または教務部長補佐が必要と判断した場合は、保護者または保証人への通知、面談を実施します。

3回目の警告（3学期連続習得単位数6単位未満）：

学部長が本人及び保護者または保証人と面談し、学修継続の意思があるか本人に確認します。意思がないと判断された場合は、教授会の議を経て、退学を勧告します。

4回目の警告（4学期連続習得単位数6単位未満）：

教授会の議を経て、退学処分を行います。（東京基督教大学 学則第51条により）

- ③ 4年次生に対してはこの制度は適用されません。

インディペンデントスタディ

既設の科目で扱われていないテーマについて、指導教員(原則専任教員)のもとで学生が主体的に学び、単位を取得する制度です。単位を取得しない聴講はできません。

インディペンデントスタディを希望する学生は、原則、履修希望学期の開始3ヶ月前までに指導教員に相談してください。指導教員が許可し、大学が承認した場合のみ開講されます。

開講が承認された場合、学生は履修登録期間に履修登録し、1単位20,000円、2単位以上40,000円の履修料を納入してください。複数の学生が同一のインディペンデントスタディ科目を履修する場合、履修料は一人あたり定められた金額を納入します。

授 業

学 期

本学は3学期制です。(春学期、秋学期、冬学期)

各学期の授業開始日等については、TCUポータルにある学年暦を参照してください。

授業時間

通常1科目の授業は、毎週1コマ(70分×2)、1学期につき10回です。

科目によっては1週間に70分×2回もしくは3回行われることがあります。

1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限	6 時 限
8:40 - 9:50	9:55 - 11:05	13:00 - 14:10	14:15 - 15:25	15:45 - 16:55	17:00 - 18:10

時間割

時間割表はTCUポータル上に掲載しています。教室・時限等の変更は、TCUポータルの「お知らせ」やEメールにてお知らせします。特に学期の始めには変更が多いので注意してください。

授業形態の種類

授業は以下の二種類の形態で実施します。

- (1) 対面授業
- (2) ハイブリッド授業（「どこでもTCU」対応科目）

授業の受講形態

学部生（寮生および通学生）

授業形態にかかわらず、対面で受講(履修・聴講)してください。

- ・体調不良等の理由でオンライン受講を学生が希望した場合、対応する・しないを含め科目担当教員の判断にゆだねます。ただし、オンライン受講は緊急的な対応とし、長期間にわたるオンライン受講は認めません。

授業の欠席

授業科目の単位取得に必要な出席日数は、その科目の授業時間数の3分の2以上です。これに満たない場合は定期試験の受験資格またはレポート提出の資格を取得できません。授業は通常1学期に10回（20回）行いますので、7回（14回）以上出席しない場合は単位修得の資格がありません（学則第25条）。

授業を欠席する場合は、次の手続きが必要です。

- (1) TCUオンラインの受講科目ページの出欠届に入力してください。
- (2) 欠席が7日を越えるときは、保証人と連署の長期欠席届を提出しなければなりません。病気、けが等の場合は、医師の診断書を添付してください。長期欠席中は在学扱いとなり授業料等の学納金も発生します。
- (3) 病気その他の理由により、欠席が3か月を越える場合は、医師の診断書を添付して休学を願ひ出ることができます。（学則第15条）

(4) その他の欠席について

- ① 忌引による欠席の扱いは、科目担当教員が判断します。
- ② 就職活動による欠席の扱いは、科目担当教員へ相談してください。

休 講

各授業科目の担当教員にやむを得ない事情が発生した場合には、授業を休講することがあります。休講の場合は担当教員または教務部から連絡します。休講の連絡がなく、かつ授業開始時刻から30分以上経過しても担当教員が入室しない場合は自動的に休講になります。

補 講

各学期の11週目に補講の週が設定されています。補講は、休講等により講義の進行が予定より遅れた際に、授業日と同じ曜日、時間帯で行います。

教科書

教科書は各科目のシラバス、またはTCUオンラインで確認してください。

TCUオンライン>ダッシュボード>教科書一覧

教科書は各自で購入してください。TCU 生に特別割引(1割引)で書籍販売をしてくださる書店情報がTCUポータルにありますので参考にしてください。

教室の設備

- ・ プロジェクターへの接続コネクター（アダプター）は、各自で用意して下さい。
- ・ パソコン等を利用する際は原則充電のうえ持ち込んで下さい。
- ・ 机や椅子を移動させた場合は授業終了時に現状復帰して下さい。

中教室Ⅰ（TERA-Tadoku and Extensive Reading Area）の利用

中教室Ⅰ(教研棟2階)は、多読学習室としての機能があります。授業で使用していない時間帯は、以下のことに留意の上、積極的に利用ください。

- ・ 「持ち出し禁止」の書籍は、室内で読むこと。
- ・ 使用後は、原状復帰すること。

学生による授業評価

各学期に授業に対する評価アンケートをTCUオンラインにて実施します。更に良い授業を作り上げていくためにアンケートへの協力をお願いします。アンケートの結果については教務部へお尋ねください。

試験と成績

不正行為についての警告

不正行為には、盗用・剽窃（レポート作成において、本、論文などの出版物、インターネット上の文書、他者のレポートなど自分以外ものが書いたものを、自分の作であるかのごとく書き提出すること）、試験におけるカンニング、小テストや試験中に他の学生の解答を写す行為、不正行為が行われることを知りつつ自分のレポートを共有する行為、試験・課題・欠席等に関して虚偽の発言をすることなどが含まれます。学習における生成AI利用についての本学の方針や注意点は、「東京基督教大学学習における生成AI利用ガイドライン」で確認してください。

授業（小テストや課題、レポート、期末試験などを含む）において不正行為を行った学生は、以下のいずれかまたは複数の処分の対象となります。

- ・当該科目の単位不認定（不合格）
- ・当該学期に履修しているすべての科目の単位不認定（不合格）
- ・奨学金等の取り消し
- ・停学
- ・除籍

試験の種類

平常試験：担当教員によって随時授業時間内に行ないます。

定期試験：各学期末の定められた1週間に行われます。レポート等の場合もあります。

レポート試験の提出期限、提出場所等は教員からの指示を受けてください。

追試験：定期試験を受験できなかった者のうち、条件を満たす者を対象に実施します。

追試験

対 象：病気(要診断書)、三親等内の親族(三親等の姻族を除く)の死去、電車遅延(要証明書)、災害、就職試験、裁判員制度等により、定期試験を受験できなかった学生で希望する者。

申 請：原則、試験日またはレポート提出期限の翌日までに申請書を提出します。（申請書については教務部へお問い合わせください。）

病気の場合は、後日診断書を提出します。

試験日・レポート提出期限：担当教員の指示に従ってください

成 績：追試験の得点は、答案採点の9割とします。ただし、科目担当教員が特別に認めた場合は10割とします。

受 験 料：1科目につき1,000円（レポートの場合も同じ）

成 績

- (1) 成績評価は原則として100点満点で行い、以下の基準により判定し合格の場合にのみ単位が与えられます。

①担当教員が行う評価

合否（単位）	評点	評価
合格 (単位修得)	100-95	A
	94-90	A-
	89-87	B+
	86-83	B
	82-80	B-
	79-77	C+
	76-73	C
	72-70	C-
	69-65	D+
	64-60	D
不合格 (単位修得無し)	59-0	F

②教務部で行う作業

	単位認定	再履修	履修停止 2024年度まで	聴講 2024年度まで
評 点	-	-	-	-
評 価	T	R	W	AU

- (2) 履修登録された科目は、すべて成績表に記載されます。
- (3) 追試験等の理由により評価が「I」(保留)の科目については、追試験等に合格した場合にA～Dまでの評価がつけられます。不合格の場合は、評価「F」となります。
- (4) クリスマン・ライフ・フォーメーションと卒業研究は、「P」(合格)又は「NP」(不合格)で評価を行います。
- (5) 他の大学、短期大学等で履修した科目、TOFEL、TOEIC、日本語能力試験などを本学の単位として認定する場合は、授業科目及び科目区分毎に単位のための認定とし、「T」(認定)と表示します。
- (6) 再履修した科目は、最高評価を採用し、最高評価以外の同一科目の成績表示は「R」(再履修)とします。

成績の公開

成績は年3回、学期終了後2週間程度からTCUオンラインで確認できます。（成績公開日は履修カレンダー参照）

成績調査願い

成績の見直しを求める場合は、成績調査申請期間に、指定の方法で教務部まで申請してください。（履修カレンダー参照）

GPA (Grade Point Average)

(1) 各学期に、全履修科目の単位当たりの成績の平均値(Grade Point Average)(以下「GPA」)を表示し、以下の計算式によって算出します。

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{\text{登録科目総単位数}}$$

(2) 科目ごとのグレードポイントは下記の通りです。ただし「P」(合格)、「NP」(不合格)、「T」(認定)、「R」(再履修)、「I」(保留)は、GPA評価の対象としません。

成績評価 (100点満点)	成績表示	1単位あたりの グレードポイント
100-95	A	4.00
94-90	A-	3.70
89-87	B+	3.30
86-83	B	3.00
82-80	B-	2.70
79-77	C+	2.30
76-73	C	2.00
72-70	C-	1.70
69-65	D+	1.30
64-60	D	1.00
59-0	F	0.00
	P/NP/T/R/I	- (カウントしない)

特別表彰（優秀成績賞・優秀卒業研究賞）

神学部のある学期間を通じ、学業成績に優秀なる者については卒業の際、次の基準で表彰します。ただし本学での単位修得数が94単位未満の場合は、優秀成績賞の表彰対象外です。

成績基準（目安）

	ポイント数(満点4)
<i>Summa Cum Laude</i> (最優秀成績賞)	4.00～3.80
<i>Magna Cum Laude</i> (準最優秀成績賞)	3.79～3.70
<i>Cum Laude</i> (優秀成績賞)	3.69～3.50

卒業年度において卒業研究を行った者のうち、特に優秀なものについては、教授会の承認のもと、優秀卒業研究賞が贈られます。

学習支援チュータリング

GPA が1.70 未満の学生を対象に、学生の基礎学力や学習意欲、学習方法の向上を目的として、通常授業外に学習支援を行います。

- (1) 前学期の GPA が1.70 未満で、なおかつ修学支援委員会が対象と定めた学生は、次の学期に学習支援チュータリングを受けなければなりません（必修）。
- (2) 対象学生には学期開始時に教務部より連絡があります。
- (3) 学習支援チュータリング対象者の GPA が 1.70 以上になった場合、次の学期は対象から除外されます。
- (4) 学習支援チュータリング対象となった学期の履修科目数の上限は、原則として5科目となります。
- (5) 学習支援チュータリングは、卒業要件を満たす単位としては認められません。
- (6) 学習支援チュータリング対象者からは学期あたり15,000円のチュータリング費が徴収されます。

卒業要件と学位

修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間です。在学期間とは、本学において学生の身分を有することが可能な期間です。本学の修業年限は4年、在学期間は8年です（学則第5条）。休学期間は在学年数に算定されません。編入学生の在学期間は、編入の許可された年次から卒業するまでの修業年限の2倍までです。

卒業要件

所定在学年数

本学を卒業するためには、本学に4年以上在学しなければなりません（休学期間等を除く）。

所定単位の履修

所定在学年数の間に学科・専攻ごとに定められた所定の科目を履修し、修得単位の合計が卒業要件を満たした者に対して卒業の資格が与えられます（学則第29条）。卒業に必要な所定の単位については、本学カリキュラム別表等を参照してください。

学 位

本学神学部の卒業要件を満たした者には卒業証書が授与され、学士の称号が与えられます。（学位規則第2条）

	日本語	英語
学位(専攻分野)	学士(神学)	Bachelor of Arts

早期卒業

本学では、大学学則第5条第3項の規定に基づき、早期卒業が認められています。認められる条件は以下の通りです。早期卒業を希望する者は、教務部までお問い合わせください。

1. 本学に3年以上在学すること
2. 卒業要件を満たすこと
3. 優秀な成績^(※)をもって修得したと認められること
4. 卒業後に本学大学院に進学すること
5. 再入学、転入学又は編入学ではないこと

^(※) 優秀な成績の基準

卒業1年前：80単位以上修得およびGPA3.50以上

卒 業 時：124単位以上修得およびGPA3.80以上

学籍

進級と専攻選択

本学では学年制と単位制を併用し、2年次終了時に進級判定を行います。また3年次からの主専攻の決定も行われます。2年次から3年次への進級の条件は以下の通りです。

1. GPA：1.3 以上（素点平均 65）
2. 修得単位数：50単位

留 年

留年とは、なんらかの理由によって同一学年を繰り返すことです。
休学した学生は、復学後、原級にとどまります。

休 学

病気その他やむを得ない理由により、3か月以上修学できないときは、学期単位で休学することができます。（学則第15条）

(1) 休学の手続き

休学を希望するときは、所定の休学願いにその理由を付し、保証人が連署して提出しなければなりません。病気の場合は医師の診断書が必要です。

なお、事前に担任、寮主事、学生部長のアドバイスを受けてください。

(2) 休学願提出期限

春学期の休学願：2月末日まで

秋学期の休学願：6月末日まで

冬学期の休学願：10月末日まで

(3) 休学者の学費

休学期間中の学費は、授業料の10分の1になります。施設費等は徴収しません。ただし、学期の途中で休学した場合は、その学期の授業料は全額徴収します（学則第34条）。
詳細は総務部学納金担当までお問い合わせください。

(4) 休学の期間

休学の期間は休学の許可を受けた日、または命ぜられた日からその学年の最終日となる3月31日までです。ただし特別の理由があるときは、再休学の手続きをし、許可を受けて引き続き1年間休学をするか、修学の見込みの立たないときは、退学届けを提出しなければなりません（学則第16条）。年度内にいずれの手続きも取らない場合は除籍されます。休学の期間は継続して2年を超えることはできません。また休学期間は通算して3年を超えることはできません。休学期間は在学期間に算入しません。

(5) 休学許可の取消し

休学の理由が、休学した日から3か月以内において消滅したときは、保証人が連署した休学許可取消願いを提出して、休学許可の取消しを受けることができます。

復 学

休学期間内に休学理由が解消した場合は、学年の始め、または学期の始めに復学することができます（学則第17条）。

- (1) 復学を希望するときは、指定された日までに復学願を教務部に提出してください。
- (2) 復学に要する学費等および履修方法等については教務部で確認してください。

退学・除籍

(1) 退学（学則第18条）

病気その他の理由により、退学しようとするときは、保証人連署の退学届に所定の学費等の領収書を添えて提出してください。

(2) 除籍（学則第21条）

- ① 履修登録をしない者、その他本学において修学の意志がないと認められる者は、指定された期限の翌日に自動的に除籍されます。
- ② 督促を受けた滞納学費等を指定された期限までに全納しない者は、指定された期限の翌日に自動的に除籍されます。
- ③ 休学中の者が、定められた休学の期間を超えても、復学または休学延長の手続きをとらない場合は、休学の終了する日に自動的に除籍されます。
- ④ 在学できる年数を越える者は、在学できる最終学年の3月31日に自動的に除籍されます。

(3) 除籍の取り消し

上記(2)①②③の理由で除籍された者が、引き続き学業の継続を希望するときは、除籍された日から2週間以内に保証人が連署した除籍取消願を提出し、許可を受けて、引き続き修学することができます。ただし学費滞納により除籍された者は、滞納学費を全納しなければ除籍取消願は許可されません。

再入学

退学後2年以内に限り再入学を願い出ることができます。再入学を希望する場合は入学年度の前年度の12月末日までに再入学願を提出して下さい。選考の上、再入学が許可されることがあります。ただし、入学してから通算8年以内に卒業が見込まれる場合に限られます。再入学の手続き、学費、履修方法等については、教務部の指示を受けてください。

クリスチャンライフ・フォーメーション

クリスチャンライフ・フォーメーションは通年の4年間（編入生は2年間）にわたる共通科目です。本学は実践的神学教育（「建学の精神」）を重要な教育の柱とし、本学での生活全体を教育の機会と捉え、それらを通して教会と社会に仕える姿勢と実践力を兼ね備えた福音を肌で感じさせるキリスト者の育成をめざしています。

クリスチャンライフ・フォーメーションでは、霊性、学習、生活の総合的な涵養を目的とし、①大学におけるチャペル出席（コイノニア〔小グループチャペル〕を含む）、②寮生活を含む学生生活全般の主体的な取り組みと振り返り、③地域教会での主日礼拝と教会奉仕を通し、キリスト者として神と教会、そして人と社会に仕える姿勢と実践力を養うために設けられています。

学生は上記の3つの取り組みに対する自己評価（「TCU ポートフォリオ」）、および教員との面談等を通して自己理解を深め、自らの将来像を意識しつつ、総合的な自己形成を行います。

チャペル

チャペルは、学びと生活の手を休めて、共に神を見上げ、意識的に霊的な養いを得るための時間です。本学におけるチャペル（コイノニア〔小グループチャペル〕を含む）は、本学での学生生活の核であり、本学の信仰共同体の中心です。本学での学びと生活を統合する中心軸として、チャペル出席を大切にしましょう。コイノニアは、学生同士また学生と教員の霊的な交流と成長を促す分かち合いの場です。毎週金曜のチャペルの時間に、1年生、2年生、各専攻（3・4年）、大学院各学年に分かれて行います。本学で共に学び生活する仲間との歩みを神様からの特別な恵みとして受け取り、みことばを中心にしつつ、より意識的に味わっていくことを目指します。

寮生活を含む学生生活

寮生活や委員会活動等を含む学生生活全体を通して、学びと生活を意識的に統合し、日常生活においてみことばに生きることを実践を目指します。「神を愛し、人を愛せよ」を学生生活全体の理念とし、宗教改革者マルティン・ルターの「キリスト者の自由」の精神に根ざし、喜んで互いに仕えあう生き方を学んでいきましょう。

教会実習

地域教会での実習を通し、教会生活全般に関する理解を深め、それぞれの賜物と習熟度に応じた実習を通して実践的な力を養っていくことを目指します。主日礼拝と祈禱会を含む教会活動を尊び、実習教会の牧師の指導のもと、積極的かつ忠実に委ねられた教会奉仕を行ってください。

TCU ポートフォリオ

TCU ポートフォリオとは、それぞれの学生の霊性、学習、寮生活を含む学生生活の成長の記録です。学期の区切り、年末にTCU ポートフォリオの記入を行い、自らの将来像を見据えつつ、次年度の目標を立て、振り返りを行い、その目標を意識した取り組みを積み上げていきます。TCU ポートフォリオの目的は、一人一人の学生の成長を可視化（見える化）するサイクルを繰り返すことで、教員からのフィードバックを受けながら、神に召された働き人としての自己を主体的に形成していくことにあります。

■ TCU ポートフォリオの活用

(1) 「学生自己評価書」、「教会実習評価書」等に基づき、年度末に個人面談（又はグループ面談）を行い、クリスチャンライフ・フォーメーションの成績を評価します。

- (2)卒業予定者は、「学生自己評価書」、「卒業小論文」に基づき、年度末に個人面談を行います。その結果は、卒業判定の一部として用いられます。
- (3)学修成果の記録を TCU ポートフォリオにまとめることで、大学での活動を振り返ることが容易になり、就職活動で求められる自己分析等も効果的に出来るようになります。

■ TCU ポートフォリオの入力項目

TCU オンラインにアクセスして入力します。入力項目は以下の通りです。

1. 入学時

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）と本学の養成する人材像「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を踏まえて、入学時の目標を記載します。

2. 学期

- (1) 学期毎に学修、生活、霊性について目標を設定し、振り返りを行います。
- (2) 1 日平均の授業外学習時間、活動時間について振り返りを行います。
- (3) 学習意欲について自己評価します。

3. 学生自己評価書

1 年間を振り返り、以下の項目を記入します。

- (1) 学修、生活、霊性に影響があった活動について
- (2) ディプロマポリシー（学位授与方針）の到達度の自己評価
- (3) 寮生活/学生生活についての自己評価
- (4) 学修、生活、社会性、霊性の成長実感についての自己評価
- (5) 本学での学び、生活、霊的形成の満足度についての自己評価

4. 教会実習評価書

- (1) 年度初めに、実習計画の目標を作成します。
- (2) 年度末に、実習の自己評価を行います。
- (3) 実習の自己評価に基づき、実習教会牧師から評価をもらいます。

5. 卒業小論文

卒業予定者が以下の項目を記入します。

- (1) 建学の精神に記されているプロテスタント福音主義、超教派の理念について
- (2) 本学での学びに基づく今後のビジョン
- (3) 卒業チャペルを通して学んだこと

6. 資格・試験

- (1) 在学中に取得した資格を記入します。
- (2) 在学中に受験した英語の検定試験の点数を入力します。

7. PROG/DP 到達度

- (1) 外部評価として 1 年次と 4 年次に受験した PROG のコンピテンシーの評価をレーダーチャートで表示します。
- (2) 学生自己評価書で記入したディプロマポリシーの 4 年間の評価をレーダーチャートで表示します。

8. 修得科目と DP

- (1) 修得科目に関連するディプロマポリシーを一覧で表示します。

器楽等レッスンの履修

器楽レッスンは以下の科目で在学中に複数回履修が可能です。

- 「教会音楽Ⅴ（オルガンレッスン）」
- 「教会音楽Ⅵ（ピアノレッスン）」
- 「教会音楽Ⅶ（声楽レッスン）」
- 「教会音楽Ⅷ（ギターレッスン）」

受講希望者は必ず、春学期はじめのオリエンテーションに参加してください。

オリエンテーションにて1年分のレッスン時間帯を決定します。各自時間割を確認して履修計画を立て、レッスンの希望時間帯を決めてから出席してください。履修希望の上級学年の学生からレッスン時間を決定し、そのあとで聴講希望者のレッスン時間を決定します。希望者が多い場合は受講できない場合があります。

オリエンテーションに参加しないとレッスン受講はできません。

履修と聴講

履 修：各レッスンは通年で2単位です。履修登録し成績がつきます。

聴 講：学期毎にレッスンを受講することです。単位は取れません。

＊履修と聴講でレッスンの内容は変わりませんが、レッスン料等が異なります。

受講資格

- 〔オルガン・ピアノ〕 初心者可、ただし鍵盤経験者が望ましい
- 〔声楽・ギター〕 受講資格を設けない

レッスン時間

〔オルガン・ピアノ〕 1回20分（各学期8回、年間24回）

〔ギター〕 1回40分（オンライン、各学期4回、年間12回）

〔声楽〕 オリエンテーションで説明（年間の総時間数は他の楽器と同じ）

レッスン料

レッスン受講には、レッスン料と楽器等使用料がかかります(全受講生)。

	レッスン料 (共通)	楽器使用料		レッスン棟使用料
		オルガン	ピアノ	
履修(年額)	45,000円	12,000円	6,000円	4,500円
履修(韓国異文化実習生)	30,000円	8,000円	4,000円	3,000円
聴講(1学期)	16,800円	5,000円	3,000円	1,500円

＊途中でレッスン受講ができなくなった場合もレッスン料と楽器等使用料は返金しません。

＊ピアノと声楽・ギターを受講する場合、楽器使用料はピアノのみ。練習室使用料は不要。

＊声楽とギターを受講する場合、練習室使用料は1つのみ。

レッスン料と楽器等使用料は、e-apply にて4月末までに支払ってください。支払方法について、詳細は学納金についてのお知らせ（紙）、もしくはTCUポータルのお知らせを確認してください。

レッスン場所

- [オルガン] 大チャペル
- [ピアノ] レッスン棟アンサンブル室
- [声楽] レッスン棟レセプションルーム
- [ギター] 寮の自室等オンラインレッスンが問題なく受けられる場所、もしくは教研棟2階中教室2

＊自分のレッスン時間になったらレッスン場所に入室して構いません。

学期中の練習

練習時間 平日7:00-21:00（オルガンは学期ごとに練習時間が割り振られます。）

練習場所 [ピアノ・声楽・ギター] レッスン棟練習室

[オルガン] 大チャペル、オルガンハウスのパイプオルガン

＊初めてオルガンレッスンを取る学期はオルガンハウスでの練習となり大チャペルでは練習できません。

＊レッスン棟練習室、大チャペル、オルガンハウスは飲食禁止です。

＊楽器の周り・練習室・レッスン場所には私物を置かないでください。

＊大学行事や施設貸出等で利用できない場合があります。掲示に注意して下さい。

＊土曜、日曜、祝日は使用できません。

長期休暇中の音楽施設利用

レッスン受講のための楽器使用料等には長期休暇中の音楽施設利用は含まれません。夏期・春季休暇中は楽器貸出期間が設定され、事前に総務部に申込みの上、有料で利用できます。

レッスン受講上の注意

- ・必ず練習してレッスンを受講すること。
- ・無断遅刻・欠席は厳禁です。遅刻・欠席をする場合は、必ず事前に担当教員に連絡して下さい。

履修取消

春学期にレッスンを履修登録し秋学期以降に履修できなくなった場合の扱いは以下のとおりです。手続き後に聴講しない場合も、レッスン料等は返金しません。

秋学期から：履修取消(追加)期間に履修取消手続きをする。

秋学期・冬学期に聴講する場合は追加で差額を支払う。

冬学期から：履修取消(追加)期間に履修取消手続きをする。

冬学期に聴講する場合は追加で差額を支払う。

単位認定

入学前の既修得単位の認定

編入学生等、本学入学以前に大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程等で学んでいた学生は、単位認定を受けることができます。単位を認定された科目は、成績表に「T」と表現されます。

- (1) 編入学生には履修登録の前に単位認定科目を通知しますので、それを参考にしながら履修計画を立ててください。
- (2) 1年次入学者で、以前短期大学等に在学しており、その科目の単位認定を希望する者は、短大等の成績証明書を、**春学期の授業開始前に**教務部に提出して相談してください（入学試験の時にすでに提出している場合は必要ありません）。
- (3) 1年次入学者で、以前専修学校に在学していた場合、単位認定を許可されることがあります。希望する場合は**春学期の授業開始前に**教務部に相談してください。
- (4) 単位認定を受けられる単位数の上限は60単位です。（学則27～28条の2）。また、本学の授業科目の区分ごとに定めた卒業要件を超える場合は、超える科目の単位は認定しません。
- (5) 入学前の既修得単位の認定は、原則として**本学への（編）入学時に1度だけ行ないます**。希望する学生は春の履修登録期間中に教務部までご相談ください。その時期を過ぎた場合、原則として入学前既修得単位の認定は行いません。

英語科目の単位認定

教務部と英語科目教員の承認を得て、次の基準で英語科目の免除・単位認定を受けることができる。

<春入学生>

スコア	スコア 提出時期	履修免除科目名(単位数)		認定 単位数
TOEIC:650 TOEFL iBT®:64 GTEC LR:260	入学時	LEN111J LEN121J LEN131J	Total English A 1 (4) Total English A 2 (4) Total English A 3 (1)	9 単位
TOEIC:650 TOEFL iBT®:64 GTEC LR:260	春学期 終了時	LEN121J LEN131J	Total English A 2 (4) Total English A 3 (1)	5 単位

1. TOEFL、TOEIC スコアは提出日から2年以内のもののみ有効。TOEFL iBT®は Test Date スコアに加え、MyBest™スコアも有効。なお GTEC のスコアについては、本学で実施したもののみ有効。
2. 入学後に TOEFL を受験する場合、受験時に本学の学校コード 8472 を入力すること。
3. スコアレポートは各種テストセンターから本学へ直接送付されるようにすること（GTEC 除く）。
4. 英語が母語で、英語圏で高等学校以上の教育課程を修めている場合、卒業の証明書の提出をもって Total English 1、2、3 の 9 単位分を免除とし、単位認定はしない。
5. 上記の基準以外で、海外の大学で履修した英語科目の単位認定を希望する場合、履修登録前に担当英語教員と教務部に相談すること。
6. 免除・単位認定を希望する学生はスコアを提出するまでは各授業を履修しなければならない。

留学制度

本学は米国のバイオラ大学 (*BIOLA University*) と協定校提携を結んでいます。バイオラ大学は北米最初の福音主義高等教育機関のひとつで、米国ロサンゼルス地区に位置しています。信仰基準、理事、教員、学生は全て福音主義に根ざしており、6,000名以上の学生が在籍しています。大学学部、大学院修士課程および博士課程を持ち、宣教師教育の長い伝統を持つ超教派の大学です。

TCU-Biola ダブルディグリー制度

本学の学生が、本学で3年、バイオラ大学で2年学び、単位互換により両大学の卒業要件を満たすことによって、両大学から学位を取得することができる制度です。卒業に要する5年の期間は学生の英語力及びバイオラ大学の必修科目開講状況によって長くなることもあります。

対象は神学部日本語トラックに1年次から入学した学生です。

モデルケース 1		モデルケース 2	
入学～3 年目春学期	本学	入学～2 年目春学期	
3 年目夏～5 年目春学期	Biola	2 年目夏～4 年目春学期	
5 年目秋学期～冬学期	本学	4 年目秋学期～5 年目冬学期	

*モデルケース 1 または 2 のいずれに該当するかは入学年度によって決まります。

<募集人数> 2年ごとに1名

<推薦要件>

モデルケース1の場合

1年次6月末までに TOEFL57点(iBT)以上を提出して本制度参加の許可を受け、2年次10月末までに TOEFL80点(iBT)以上、2年次秋学期までの累計 GPA3.50以上で教授会が推薦に値すると認めた者。

モデルケース2の場合

1年次6月末までに TOEFL68点(iBT)以上を提出して本制度参加の許可を受け、1年次10月末までに TOEFL80点(iBT)以上、1年次秋学期までの累計 GPA3.50以上で教授会が推薦に値すると認めた者。

<費用>

- ・授業料：本学の授業料・施設費を本学に納入
- ・寮費：バイオラ大学に納入 参考 約 US\$3,225 (入る寮によって増減あり)
- ・食費：バイオラ大学に納入 参考 US\$2,670 (週12食の Meal Plan)
- ・各自負担：往復の航空券、米国ビザ手続費用、予防接種代、海外旅行保険、事故対策保険、教科書代、休暇中の滞在費、バイオラ大学で Summer Session (5月下旬～7月下旬) または Interterm (1月) を受講する際の授業料、寮費、食費等

*寮費と食費の金額は2024-2025年度の参考金額です。留学時の金額とは異なります。

<学内担当窓口>

教務部：森

短期交換留学制度

本学在籍中に1学期間バイオラ大学に留学する制度です。本学が学内選考を経て学生を推薦し、バイオラ大学が最終的な受入判断を下します。

＜留学期間＞ バイオラ大学の Fall Semester （8月下旬頃－12月3週）

＜募集時期＞ 1月～2月に TCU ポータルによって募集

＜応募資格＞

本学での在学期間：1年以上

成績優秀：累計 GPA3.50 以上

英語力：TOEFL(iBT) 80 点以上、IELTS 6.5、Duolingo 125 点以上のいずれか

＜募集人数＞

若干名。ただし本学とバイオラ大学で同人数の交換となるため、留学生の受入数と派遣数に差がある場合には派遣留学生を募集しないこともあります。

＜費用＞

授業料：本学の授業料を本学へ納入

寮費：約 US\$3,225 （入る寮によって増減あり）

食費：US\$2,670（週12食の Meal Plan）

*バイオラ大学の寮費・食費は 2024-2025 年度のバイオラ大学の学納金(Fall Semester)を参考

*その他履修デポジット、寮デポジットの費用が掛かる可能性があります。

*本学の学納金に含まれる寮費(退寮した場合)・食費の秋学期及び12月分は免除されます。

ビザ申請料・渡航費：各自負担

事故対策保険料（約 10,000 円）：本学が加入手続き。学生が保険料を本学へ納入。

海外旅行保険料（約 95,000 円）：本学指定の海外旅行保険会社。本学が加入手続き。

学生が保険料を本学へ納入。

＜単位認定＞

バイオラ大学で取得した単位は本学で単位認定可能です。希望する場合は、帰国後にバイオラ大学の成績証明書(Transcript)を教務課に提出し認定を受けてください。単位認定には、相当する本学の科目の単位として振替えられる場合と単位数のみ認定される場合があります。

＜履修上の注意＞

本学の冬学期の授業を3週間受けられなくなりますので、特別に調整します。通年科目は履修できません。バイオラ大学では最低12単位の履修が必要です。

＜学内担当窓口＞

教務部：森

教務部案内

連絡方法

事務取扱い

・ 授業 ・

- 証明書は教務部窓口にある所定の申請書、または[申請フォーム](#)から申し込んでください。

※卒業見込証明書は学部4年次より発行可能です。
※当日発行は、料金が倍になります

※当日発行は、料金が倍になります。

オフィスアワー制度

東京基督教大学

学習における生成 AI 利用ガイドライン

1. 本学の基本的な考え方

東京基督教大学では、皆さんの学習において生成 AI を利用することを一律に禁じることはしません。社会に流通しているツールですから、学習利用の場合は、自分で思考する力を高めるために賢く用いることを奨励します。注意点を以下に示しました。受講している授業での利用については、利用の可否も含めて、科目を担当している教員の方針に従ってください。

2. 本ガイドラインが対象とする生成 AI

生成 AI とはユーザーの入力する質問（プロンプト）に対する回答を自然言語等の形式で出力するプログラムのことで、以下のようなサービスを指します。

ChatGPT、Copilot、Gemini、Claude、Stable Diffusion、Midjourney 等

3. 生成 AI 利用の注意点

- a. 授業での生成 AI の利用の可否、利用条件等は科目担当教員の指示に従うこと。
- b. 生成 AI が出力した文章を自らの考えとしてレポート等の課題に転載することは禁止する。
- c. 生成 AI の出力は間違った情報を含む場合があるため、必ず真偽の判断を行うこと。
- d. 生成 AI は倫理的な問題を含む表現を出力する場合があることに注意すること。
- e. 課題の作成に生成 AI を使用した場合は、利用した旨と生成過程を明記すること。
- f. 生成 AI に入力した情報は機械学習に利用される場合があるため個人情報や機密情報は入力しない。
- g. 生成 AI の出力は著作物に類似する可能性があることに注意し、著作権侵害の可能性がある場合は使用しないこと。但し、授業での発表等授業の範囲内で利用することは著作権法第 35 条教育目的の利用に当たるため利用可能。

4. ガイドラインのアップデート

生成 AI の精度は日々進歩しているため、利用に関する注意事項も変化します。本ガイドラインは 2024 年 11 月現在のものであり、適宜アップデートを行う予定です。